

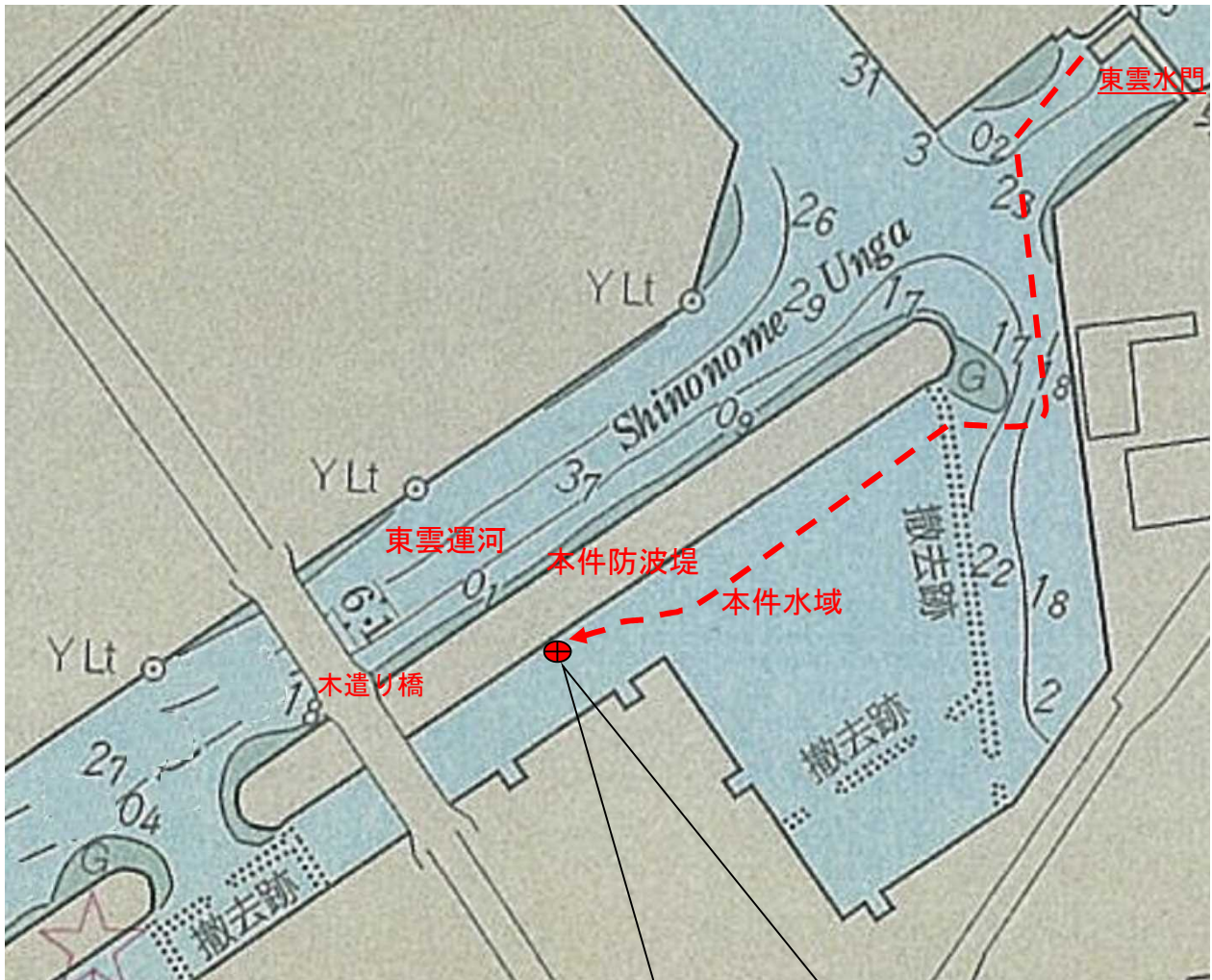
船舶事故調査報告書

平成27年7月23日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄司邦昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根本美奈

事故種類	衝突（防波堤）
発生日時	平成26年8月2日 14時20分ごろ
発生場所	東京都江東区有明東雲運河木遣り橋付近 晴海信号所から真方位95° 1.1海里付近 （概位 北緯35°38.74′ 東経139°47.69′）
事故調査の経過	平成26年8月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	水上オートバイ ^{マリエ} marie、0.1トン 232-40403千葉、個人所有 2.69m (Lr) ×1.13m×0.43m、FRP ガソリン機関、174.00kW、平成21年7月
乗組員等に関する情報	船長 男性 28歳 特殊小型船舶操縦士 免許登録日 平成21年10月23日 免許証交付日 平成26年6月2日 （平成31年10月22日まで有効） 同乗者A 女性 25歳 同乗者B 女性 24歳
死傷者等	重傷 3人（船長、同乗者A及び同乗者B）
損傷	船底外板に破口（船体の中央及び船尾）、キール部分に亀裂、船体に擦過傷等
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者A及び同乗者Bを乗せ、京浜港東京区所在のお台場海浜公園付近の海域を航行する目的で東京都江東区所在のマリーナを出発した。 本船は、江東区所在の東雲水門を約25km/hの速力（対地速力、以下同じ。）で通過した後、増速しながら「江東区有明所在の東雲運河海上公園となる予定の水域」（以下「本件水域」という。）を「東雲運河の旧防波堤」（以下「本件防波堤」という。）寄りに速力約65km/h ^{のり} で南西進中、平成26年8月2日14時20分ごろ、本件防波堤の法 ^{めん} 面上の石に接触して飛び上がり、本件防波堤の上部工に衝突した。 船長、同乗者A及び同乗者Bは本船から投げ出され、東雲運河に架

	<p>かる木遣り橋付近にいた目撃者が消防署に通報し、救急車で病院に搬送された。</p> <p>船長は、頸椎^{けいつい}及び腰椎^{ようつい}骨折等を、同乗者Aは、骨盤及び腰椎骨折等を、同乗者Bは、肺挫傷^{はいざしやう}及び腰椎横突起骨折^{おうとつき}等をそれぞれ負った。</p> <p>(付図1 事故発生経過概略図、写真1 事故発生場所(本件防波堤) 参照)</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南南西、風力 4、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の末期、潮高 約0.80m(東京港)</p>
その他の事項	<p>船長は、友人から本船を借用したのは初めてであった。</p> <p>船長は、本件水域を50回以上通った経験があったが、干潮時でも問題なく通れると思っていた。</p> <p>本件防波堤は、傾斜堤であって干潮時には法面上に多数の石が現れていた。</p> <p>船長は、緊急エンジン停止コードを腕に巻き付け、救命胴衣、手袋及び海水パンツを、同乗者A及び同乗者Bは、水着の上にTシャツと救命胴衣をそれぞれ着用していた。</p> <p>船長は、船舶検査証書に記載された最大搭載人員が2人であったことを、本事故後に気付いた。</p> <p>船長は、本事故時に直進して航行しているつもりであったが、本件防波堤に寄ったのは、3人が乗船していてハンドルの効きが悪くなったのではないかと思った。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、干潮時、本件水域を増速しながら南西進中、船長が、本件防波堤に寄って航行したことから、本件防波堤の法面上の石に接触して飛び上がり、本件防波堤の上部工に衝突したものと考えられる。</p> <p>船長は、本船の最大搭載人員を厳守し、水路状況の調査及び潮汐の確認を行っていれば、本件水域の中央を通る必要性を理解し、衝突を回避できた可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、干潮時、本件水域を増速しながら南西進中、船長が、本件防波堤に寄って航行したため、本件防波堤の法面上の石に接触して飛び上がり、本件防波堤の上部工に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船長は、最大搭載人員を厳守すること。 ・ 航行予定海域の水域状況を事前に調査すること。

付図1 事故発生経過概略図



0 50 100 (m)

事故発生場所
(平成26年8月2日 14時20分ごろ発生)

写真1 事故発生場所（本件防波堤）
(潮高 約1.0m (東京港))



法面

本件防波堤の法面上の石